



# 小松原中学校だより

令和6年  
1月18日(木)  
【第14号】

～生徒が楽しく学べ、先生も楽しく仕事ができ、笑顔があふれる学校～

## 3学期スタート～年間のまとめと進学・進級の準備を～

いよいよ3学期がスタートしました。年が明けると月日が過ぎるのが早く感じるものです。1月は行く月、2月は逃げる月、3月は去る月と言われる所以でしょう。

さて、3年生にとっては、もう2ヶ月後には卒業式を控えています。その前に、受験がありますので、しっかりと準備をして、受験に備えてほしいです。1・2年生は、1年間のまとめの時期だけでなく、進級のための準備もしっかりやっていきましょう。



始業式は寒さと感染症防止の対策のためリモートにより実施しました。各学年の代表より、3学期の目標や新年の抱負の発表がありました。3年代表の床次さんからは、あいさつ、時間やルールを守る、人への思いやりなど人として当たり前のことを心がけたいとの発表がありました。これらのことは、社会人として、とても大切なことだと思います。受験を控えている3年生にとっても大切なことだと思います。

校長からは、まず、能登半島地震のことにふれ、亡くなられた方へのお悔やみと被災された方々へのお見舞い、そして一日も早く日常が戻ることを祈り、校長の呼びかけにより全校生徒で黙祷を捧げました。その後、「1年の計は元旦にあり」というように、目標をもって生活することの大切さについての話がありました。最後に、3学期の目標として「人を思いやる心を持ち、共に育む学校」が発表されました。

## 生徒会とこまボラが能登半島地震被害に対する募金活動を開始



今回の能登半島地震で被災された方々に対してできることはないかと生徒会やこまボラスタッフで話し合った結果、義援金を集めることにしました。生徒会役員やこまボラスタッフが月17日から24日まで、登校時間に下足室で募金活動をします。集まった義援金は、赤十字を通して被災地へ届けることとしています。

## なぜ？小松の森に日本では生息しないクスノキが植栽？情報をお寄せください！



日本名	ボルボニア・タブ
科名	クスノキ
学名	<i>Persea borbonia</i> (L.) Spreng



本校のシンボル「小松の森」には、多くの樹木が植樹されていますが、その中に、学名「*Persea borbonia* (L.) Spreng」という樹木があります。この樹木は、植栽の経緯も年代も判明していません。また樹木図鑑などにもほとんど記載がありません。また日本名もない樹木なのです。

都城早水公園緑の相談所所長 西 紘平 様が、熊本大学薬学部の渡邊高志教授に相談されたところ、日本のあらゆる文献にも見られないことから、正式発表の前に取り敢えず日本名を「ボルボニア・タブ」とされたようです。

北米東海岸のニューヨーク市からフロリダ、テキサス州まで分布するそうです。果樹のアボガドに近い樹木のようなので、どのようにして小松の森に植えられたのでしょうか？